

情報・通信系開発教材

「VBによるWebブラウザの作成」(抜粋)

能力開発セミナー教材

セミナー教材名	VBによるWebブラウザの作成 教材ダウンロード： bwb1006.lzh	作成年月日	平成13年 1月11日
		開発メンバー	社領 秀樹(関西職業能力開発促進センター) 豊嶋啓一郎(高度職業能力開発促進センター) 大江 康二(茨城職業能力開発短期大学校) 和田 賢次(中部職業能力開発促進センター)
開発背景	現在、インターネットが普及し業務に欠かせないものになっている。しかし、インターネットだけでは業務システムの構築は難しくなっており、特にインターネットとデータベースを組み合わせた技術が求められている。		
開発目的	(1) インターネットとデータベース技術を理解し、実際の業務に活用できる人材を育成する。 (2) インターネットとデータベースを組み合わせたアプリケーションの基礎的な開発ができる人材を育成する。		

構成 (仕事、作業を 意識した名称)	目的	教材名 (仕事、作業に必要な 知識、技能・技術)	教材内容
インターネット 概論	インターネットに関する各種基礎知識（URL、IPアドレスなど）を習得する。	インターネット概論	1. インターネットとは 2. インターネットで利用できるサービス 3. コンピュータのアドレス
VBの基本	VBに関する各種基礎知識（操作法、文法など）を習得する。	VBの基本	1. ユーザーインターフェースのデザイン 2. プロパティの設定 3. BASICコードの記述
Active X	Active Xに関する各種基礎知識（操作法、文法など）を習得する。	Active X	1. Active X コントロールの概要 2. Active X コードコンポーネントの概要 3. Active X ドキュメントの概要
ADOの基本	ADOに関する各種基礎知識（操作、文法など）を習得する。	ADOの基本	1. DBへの接続 2. レコード操作 3. レコード編集 4. エラー処理
SQLの基本	SQLに関する各種基礎知識（文法など）を習得する。	SQLの基本	1. RDB概要 2. レコード操作 3. レコード編集 4. 各種オブジェクトの作成 5. トランザクション

抜粋の為 2 章より掲載。

第 2 章 Visual Basic の基本

Visual Basic による開発手順

1. ユーザインタフェースのデザイン

フォームと呼ばれる土台にコントロールと呼ばれるコマンドボタン、リストボックス、スクロールバーなどを、画面を見ながら配置してユーザインタフェース部分を作成する。

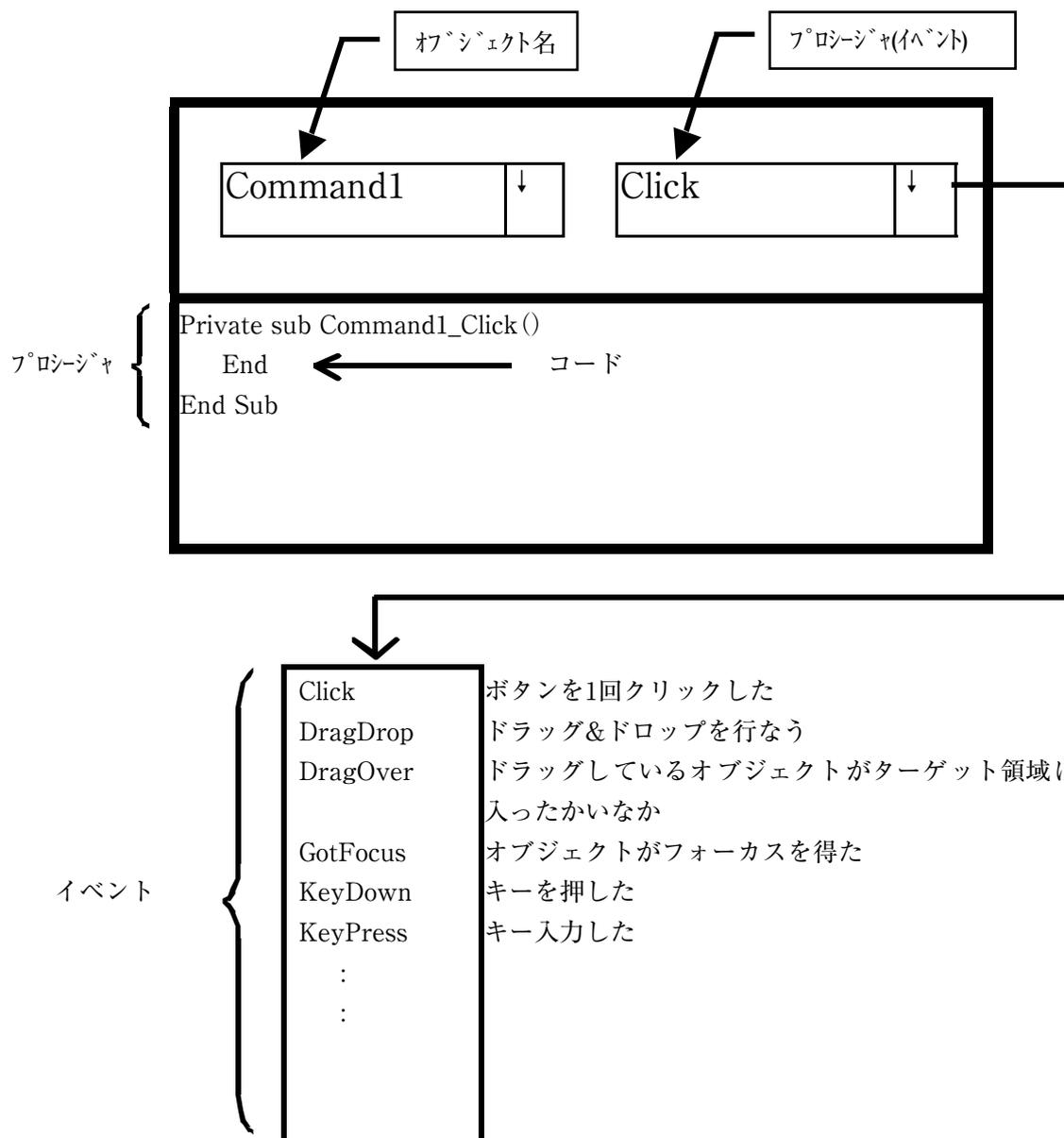
2. プロパティの設定

配置したユーザインタフェース部分の詳細な設定を行う。例えば、コマンドボタンを作ったならば、その色はどうするか、コマンドボタンに記す文字はどうするかといったことを行う。

3. BASIC コードの記述

コード作成ウィンドウに BASIC コードで記述する。

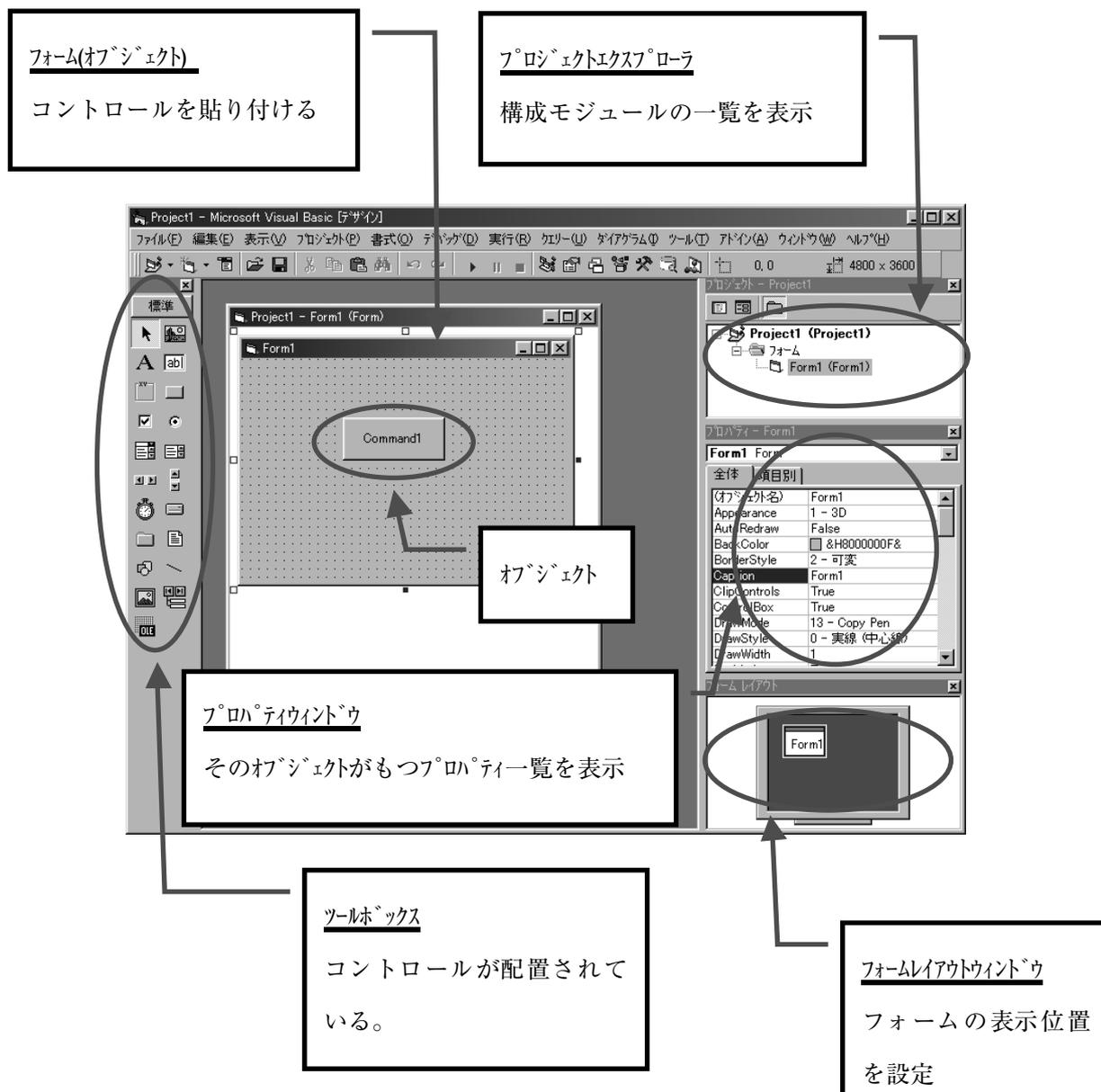
コード作成ウィンドウ



イベントの数だけプロシージャが用意されている

- ・フォーカス ……オブジェクトがイベントを受け取ることができる状態を「フォーカスを持つ」という。実行時において、フォーム上のオブジェクトのうちただ一つが、フォーカスを持っている。
- ・ドラッグ ……目的のオブジェクト位置でマウスボタンを押し、押したままオブジェクトを移動すること。
- ・ドロップ ……移動先でマウスを離してオブジェクト位置を確定すること。

VB の画面構成



VB ってどんなの？

- ・ いろいろなボタン

Program Files¥Microsoft Visual Studio

¥Msdn98¥98vs¥1041¥Samples¥vb98¥Controls¥controls.vbp

- ・ 時計

Program Files¥Microsoft Visual Studio

¥Msdn98¥98vs¥1041¥Samples¥vb98¥alarm¥alarm.vbp

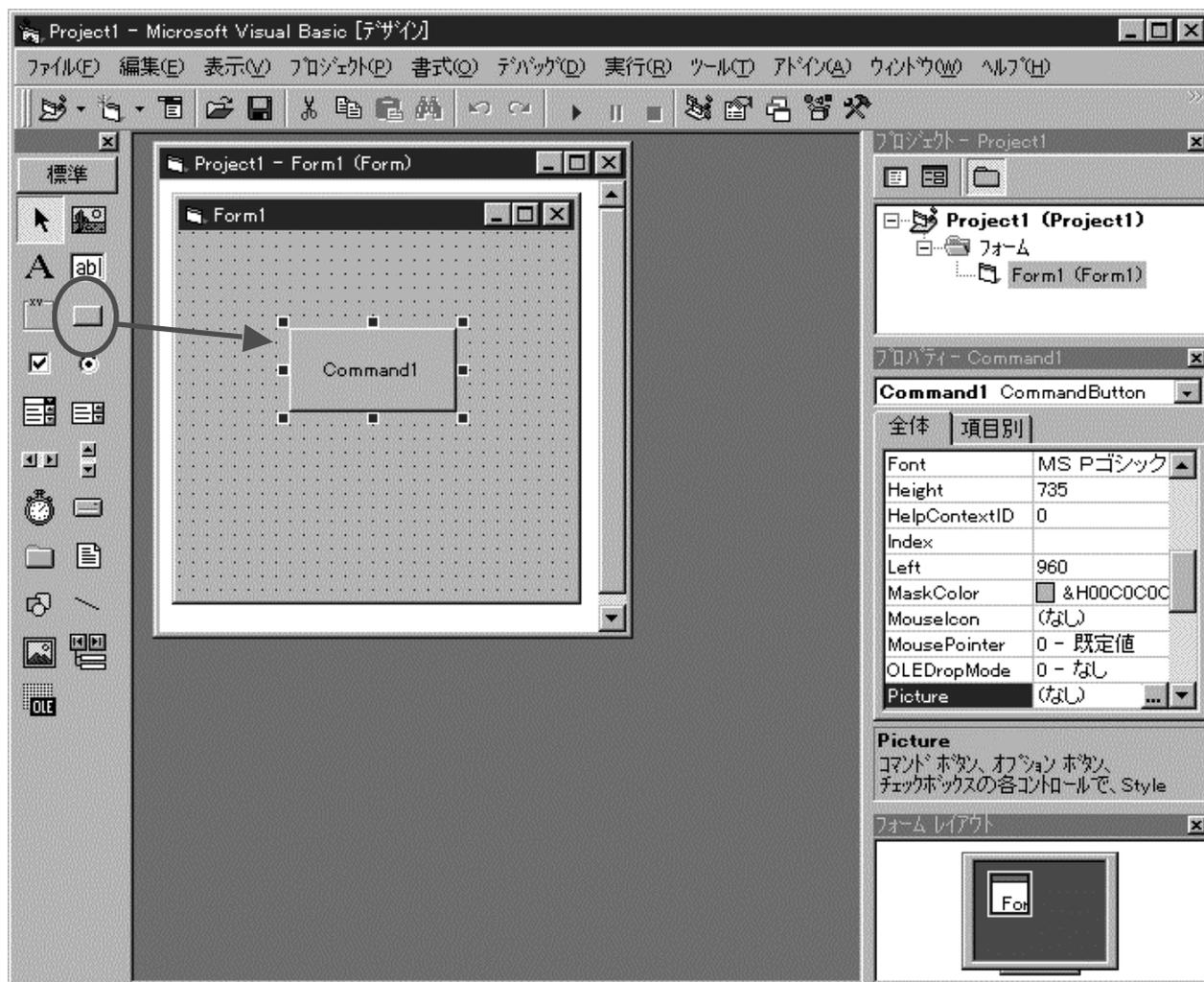
- ・ 動画

Program Files¥Microsoft Visual Studio

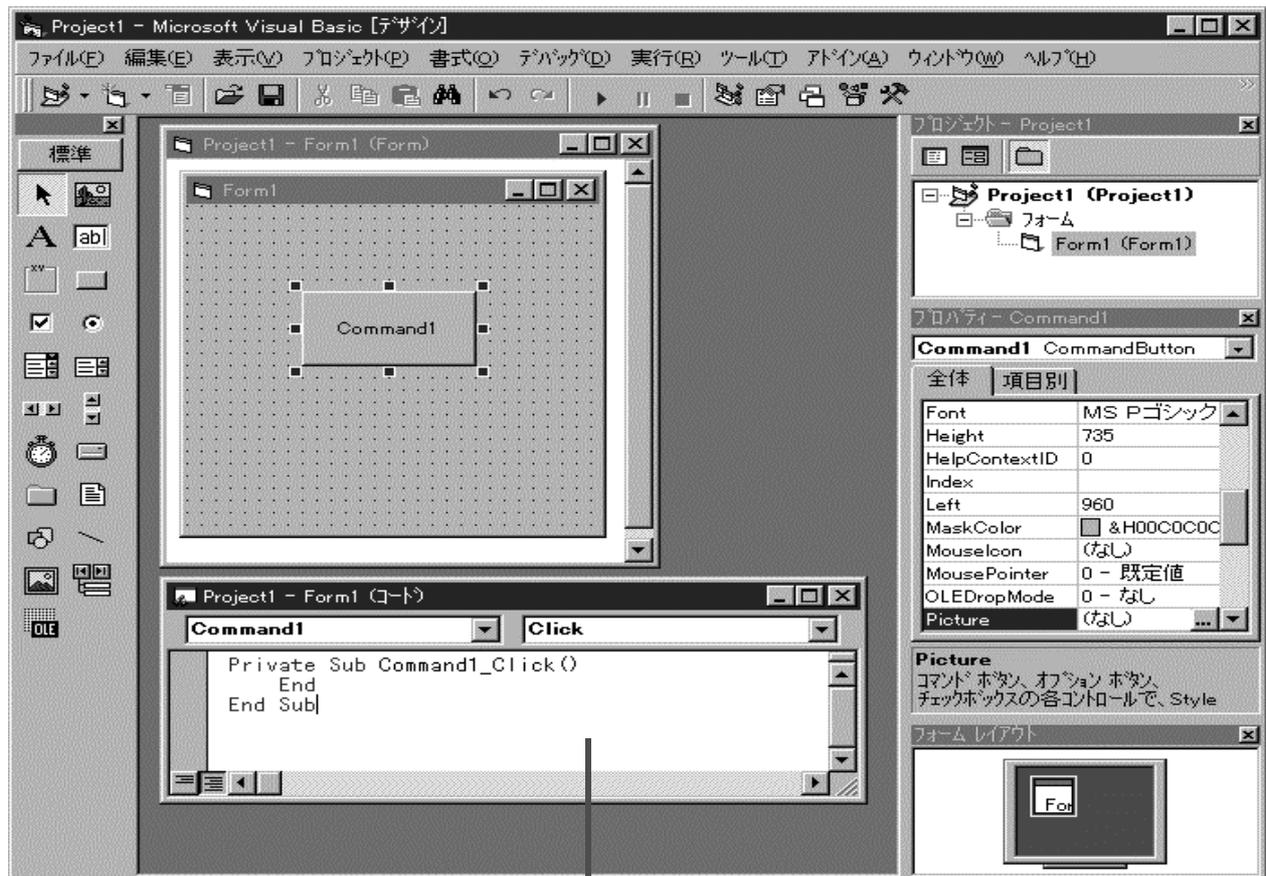
¥Msdn98¥98vs¥1041¥Samples¥vb98¥PicClip¥Redtop.vbp

コード作成ウィンドウ

1. コマンドボタンをフォームに貼り付ける。



2. コード記述画面を表示させて、コードを入力する。



コード記述画面を表示するには、貼り付けたオブジェクトをダブルクリックするか、または貼り付けたオブジェクトを右クリックして「コードの表示」を選択する。

3. 実行する

実行は、メニューバーから「実行」 - 「開始」を選択するか、またはツールバーから右向き三角ボタンをクリックする。

プロパティの設定

プロパティとは、オブジェクトの位置やサイズ、または表示形態といったオブジェクトの仕様（属性）を設定するものです。それぞれのオブジェクトが独自のプロパティを持っている

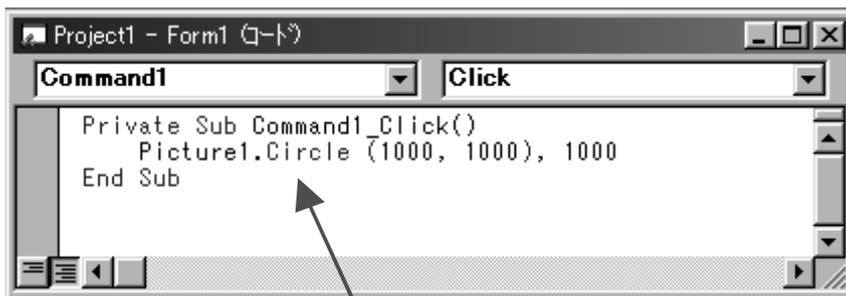
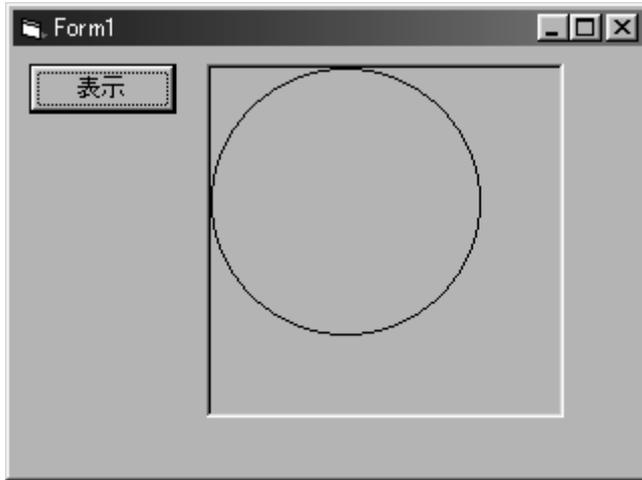
コマンドボタンの色を変更する。
BackColor：指定色
Style：1-グラフィックス

ボタンの表示項目を変更する。
Caption：ボタン

全体	項目別
BackColor	&H00FFFF00&
Cancel	False
Caption	ボタン
CausesValidation	True
Default	False
DisabledPicture	(なし)
DownPicture	(なし)
DragIcon	(なし)
DragMode	0 - 手動
Enabled	True
Font	MS Pゴシック
Height	615
HelpContextID	0
Index	
Left	1560
MaskColor	&H00000000&
MouseIcon	(なし)
MousePointer	0 - 既定値
OLEDropMode	0 - なし
Picture	(なし)
RightToLeft	False
Style	1 - グラフィックス
TabIndex	0

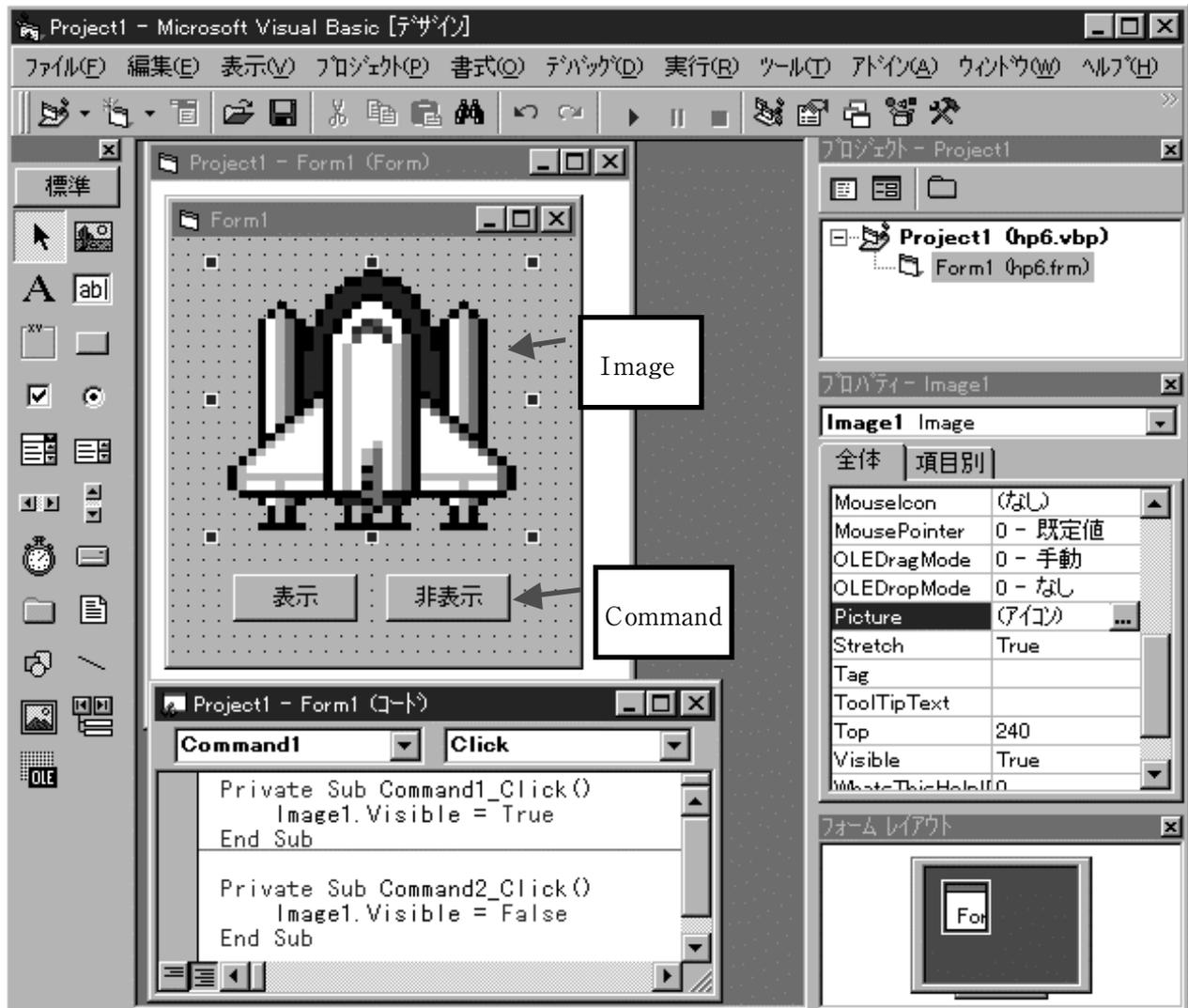
メソッドの仕様

メソッドとはオブジェクトを操作するための命令です。それぞれのオブジェクトが独自のメソッドを持っている。



PictureBoxオブジェクトが持っている
Circleメソッド

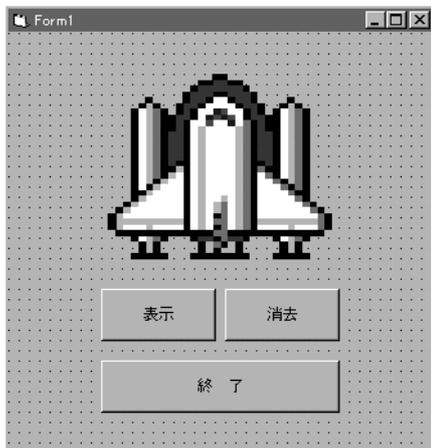
例) ロケットのアイコンデータをイメージコントロールにロードしておき、2つのコマンドボタンのクリックで、表示と非表示を切り替えるプログラムを作成する。



コントロール	プロパティ	値
Command1	Caption	“表示”
Command2	Caption	“非表示”
Image1	Picture	¥vb¥Graphics ¥ icons ¥ Industry ¥ Rocket.ico
	Stretch	True

練習問題

テキスト P 6 の例に終了ボタンを追加して、このボタンを押すと終了するプログラムを作成する



制御文

- ・ If ~ Then ~ Else
- ・ If ~ Then ElseIf
- ・ For To Step ~ Next
- ・ Do While ~ Loop
- ・ Do Until ~ Loop
- ・ Select Case
- ・ Exit (Exit Do、Exit For、Exit Sub、 etc)